

防災対策

○熊本市地震ハザードマップ（熊本市）

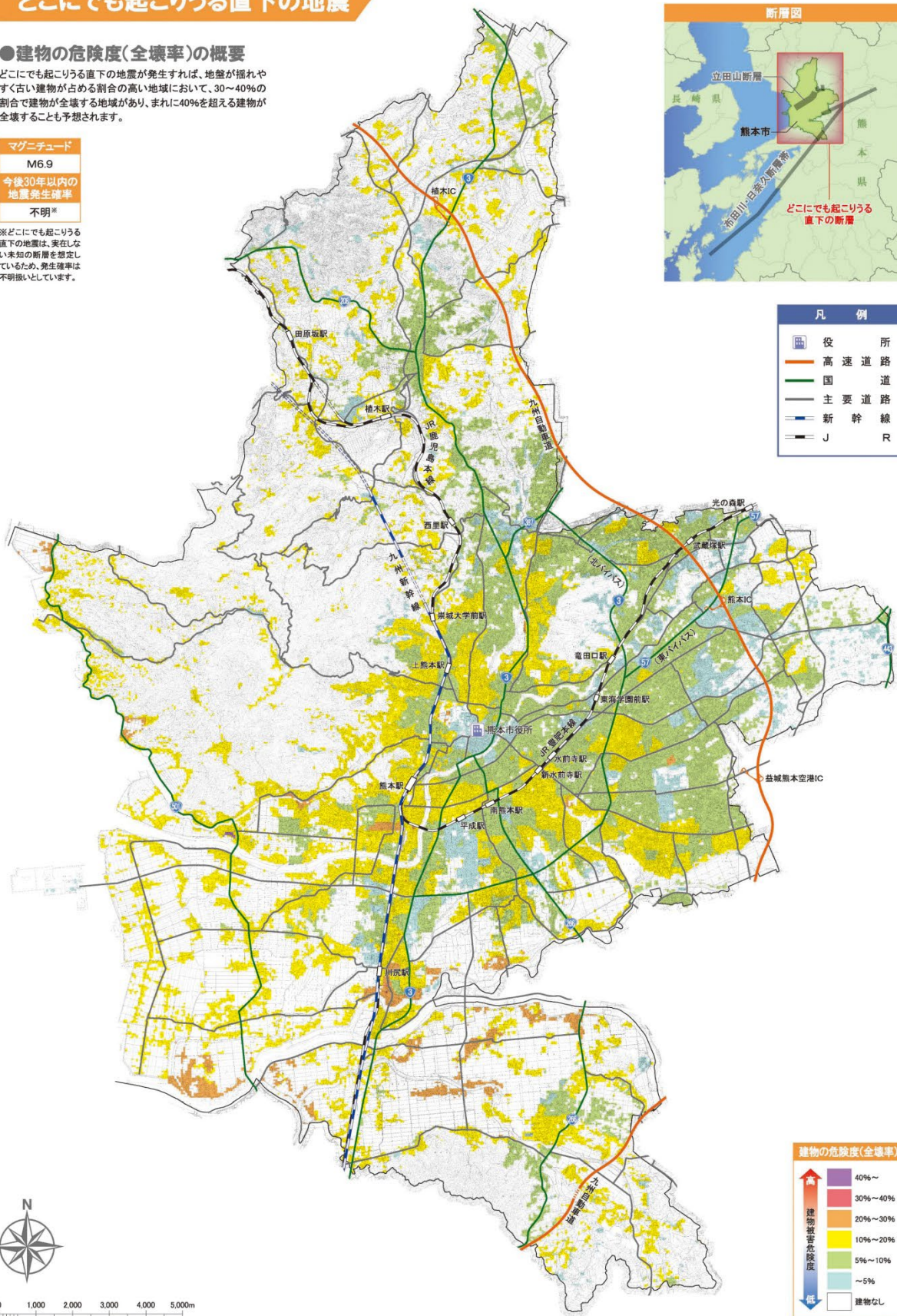
どこにでも起こりうる直下の地震

●建物の危険度(全壊率)の概要

どこにでも起こりうる直下の地震が発生すれば、地盤が揺れやすく古い建物が占める割合の高い地域において、30～40%の割合で建物が全壊する地域があり、まれに40%を超える建物が全壊することも予想されます。

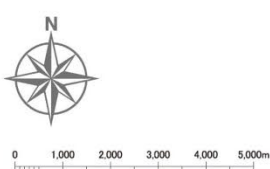
マグニチュード	M6.9
今後30年以内の地震発生確率	不明*

*どこにでも起こりうる直下の地震は、実在しない未知の断層を想定しているため、発生確率は不明扱いとしています。



凡 例	
	役 所
	高 速 道 路
	国 道
	主 要 道 路
	新 幹 線
	J R

建物の危険度(全壊率)	
↑ 高	40%～
	30%～40%
	20%～30%
	10%～20%
	5%～10%
	～5%
↓ 低	建物なし



地震・津波

風水害

土砂災害

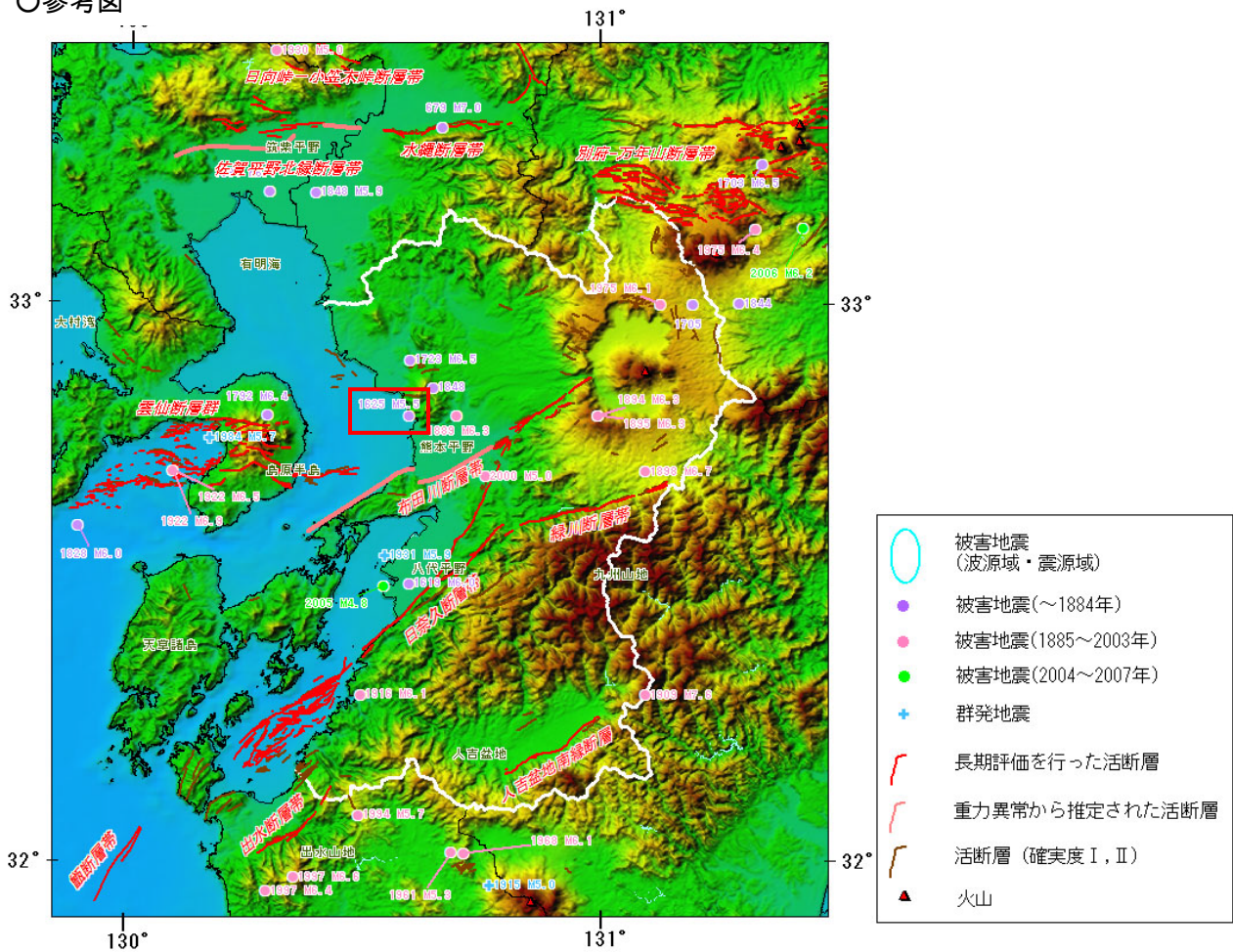
高潮

火山災害

その他

資料 社会資本 状況写真 絵画 文献 その他

○参考図



▲熊本県とその周辺の主な被害地震

画像出典：地震調査研究推進本部HP（文部科学省研究開発局地震・防災研究課）

○参考文献

- ・「理科年表H28年版」国立天文台編（2015年発行）
- ・「日本の自然災害500～1995年」日本専門図書出版（2010年発行）
- ・「福岡の気象百年」福岡管区気象台編刊（1990年発行）
- ・「九州の災害史」三浦幸一郎著刊（1987年発行）
- ・「熊本県災異誌」熊本測候所（1952年発行）

○参考サイト

- ・熊本県の地震の特徴

（地震調査研究推進本部事務局〔文部科学省研究開発局地震・防災研究課〕）

http://www.jishin.go.jp/main/yosokuchizu/kyushu-okinawa/p43_kumamoto.htm

地震・津波

風水害

土砂災害

高潮

火山災害

その他